

The Snowball™





SNOWBALL

Congratulations.

この度は、Snowball USBマイクロフォンをご購入いただき、ありがとうございます。

Snowballは、世界で最もユニークかつ革新的なプロフェッショナルUSBコンデンサー・マイクです。Blueは、スタジオ、ステージ、フィルム、ブロードキャストの各分野において、その卓越したマイク設計技術で広く知られています。Blueは、これらの由緒ある伝統と最先端の技術をコンピューター・ユースに融合し、かつてない品質でのUSBマイクを開発しました。Snowballは、わたしたちの柔軟なイマジネーションと長年にわたるマイク／カプセル製作の経験とを余すところなく注入した、記念すべき製品です。Snowballで広がる世界を、ぜひお楽しみください。

"This thing will make me immortal!"

— Frosty (lead singer of *The Snowmen*)

"The next best thing to plugging a USB connector into your neck"

— Rodney Petersburg, President, *North Platte Star Trek Fan Club*

"Thanks to the Snowball, I can now actually record ON the Matterhorn!"

— Lars Jürgensbourger, Winner,
1981 World Yodeling Competition

"Finally, something to plug into my laptop on those long, winter nights!"

— The Abominable Snowman



Snowballは、マニュアルを読まなくても簡単にご使用いただける製品です。しかし、製品の機能や特徴を理解し、用途別の使用ヒント集をご参照いただくことで、Snowballを最大限でご活用いただくことが可能となります。末永くご愛用いただくためにも、本マニュアルをご一読いただけますよう、お願いいたします。

背面のスイッチは何？

Snowballの背面には、USB端子と、3つのポジションが切り替えられるスイッチがあります。USB端子は、付属のUSBケーブルを使用し、PCと接続するために使用します。スイッチは、使用用途によって、マイクの集音機能を切り替えるものです。

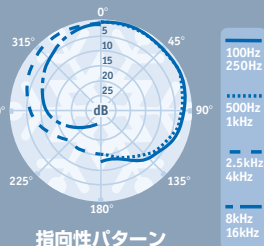
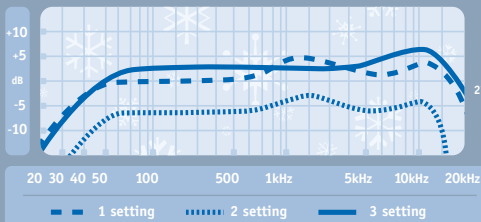
- ① **左ポジション**：カーディオイド（単一指向）カプセルを有効にします。
- ② **中ポジション**：-10dB PAD入りカーディオイド・カプセルを有効にします。
※音声シグナルが歪む可能性のある大音量を収録する際に、
マイクに入る音量を10dB下げるモードです。
- ③ **右ポジション**：オムニ（無指向）カプセルを有効にします。

幅広い用途に対応

Snowballは、煩雑なセッティング工程を排除し、手軽に、素早くスタジオで使用できるようにデザインされています。高品位マイクプリアンプを内蔵しているため、PCのUSBポートに接続するだけで、幅広いアプリケーションに対応する利便性を誇ります。頑強な構造、デュアルカプセル・デザイン、高SPL仕様といった特徴により、様々な用途でご使用いただけます。



周波数特性



本特性チャートは、あくまでも目安としてご参照ください。マイクの特性は使用用途をはじめ、室内音響、音源からの距離、楽器のチューニング、ケーブルリングなど、様々な要因によって変化します。

「デュアルカプセル」とは・・・

Snowballには、2種類の異なるマイクカプセルが搭載されています。

一つはマイクの前方向にある音源にフォーカスして、自然な音響特性で集音する「**カーディオイド（単一指向）カプセル**」、もう一つはマイクの周りの音も含め、明るめな音で空間を全体的に集音する「**オムニ（無指向）カプセル**」です。

異なるカプセルを搭載することで、幅広い用途でお使いいただくことが可能になります。



Snowballの設置方法

Snowball本体下部に、本体をマイクスタンドにマウントするための穴が空いています。Snowballを落下などによる破損から防ぐためにも、本体は必ず付属のトライポッドか、標準マイクスタンドにしっかりとマウントしてください。マイクを直接スタンドにマウントした場合、床からの振動などから来る低周波ノイズを拾うことがあります。このようなノイズ対策として、オプション・アクセサリ「The Ringer」ショックマウントもご用意しております。アクセサリ類の詳細は、最寄りのBlue Microphonesディーラー様へお問い合わせください。



SnowballをThe Ringerにマウントした状態

Snowballをマウントすると、本体はゆっくり前後に傾けることができます。音源に対してマイクが適切な角度になるよう、調整しましょう。



ご注意ください！

無理な角度調整による破損は保証されません。充分ご注意ください。

SnowballとPCの接続方法

Snowballをスタンドにマウントし終わったら、MacintoshもしくはWindowsのPCに、付属のUSBケーブルを使用して接続します。音源に対して、Snowballの正面（Blueのロゴ面）が向いていることを確認してください。コンピューターに接続すると、正面上部のLEDが赤く点灯し、録音の準備が整ったことを示します。

基本動作環境*

Macintosh

Mac OS X
USB 1.0 or 2.0
64 MB RAM (minimum)

Windows

XP Home Edition or
XP Professional
USB 1.0 or 2.0
64 MB RAM (minimum)

* Snowballは主要なレコーディング用アプリケーションで問題なく動作いたしますが、すべてのソフトウェアでの動作検証を行っているわけではありません。万一お使いのアプリケーションで不具合が発生する場合は、ソフトウェア・メーカーまでお問い合わせください。





Macintosh セットアップ手順

1. Appleメニュー内の「システム環境設定」を開きます。
2. 「サウンド」アイコンをクリックします。
3. 「入力」タブを開きます。
4. 「サウンドを入力する装置の選択」に表示される「BLUE USB BALL MIC」を選択します。
5. 「入力音量」を調整し、適切な入力レベルに設定します。
6. 設定が終わったら「システム環境設定」を閉じます。

Windows セットアップ手順

1. 「スタート」メニュー内の「コントロールパネル」を開き、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」の中の「サウンドとオーディオデバイス」を開きます。
2. 「音声」タブを開き、「音声録音」の項目に「BLUE USB BALL MIC」がデフォルトのデバイスとして設定されていることを確認します。
3. 「音量」ボタンをクリックし、適切な入力レベルに設定します。
4. 設定が終わったらコントロールパネルを閉じます。

最適なサウンドを得るためには？

続いて、Snowballで最適な音声を収録するためのヒントを用途別に紹介しましょう。ご紹介するヒント集は、いずれも一つのガイドラインとしてご参照ください。いかなる場合でも、音の善し悪しの最終的な判断基準は、あなたの耳です。ご自身で「良い」と感じられたセッティングが、一番正しい収録方法です。カプセルの種類と設置方法の組み合わせをいろいろと試して収録してみることで、あなたにとって最適なセッティングがきっと見つかるはずですよ。



Vocals - ボーカル

「ビッグ」なボーカルサウンドを得るには、シンガーの口元から約1~4インチ（約2.5~10cm）ほど距離を空けてSnowballを設置します。コンピューター側の入力レベルを調整し、音声シグナルがオーバーロードしないようにしましょう。ボーカルを収録する場合は、必ずBlueの「The Pop」などの音響特性的にニュートラルな高品位ポップフィルターをお使いください。



ポップフィルターはポップノイズ（「ばびぶべぼ」などの破裂音）を除去するとともに、マイクのダイアフラムを保護する役割を果たします。

マイクを少し上に向けることでヘッドトーンが強調されます。ブライツネスと可聴性を重視したい場合は、直接口元を狙うと良いでしょう。下方、胸元に向けると豊かなローとスムーズなハイが得られます。ボーカルのような音源の狭い対象を収録する場合は、カーディオイド（単一指向）モードがお勧めです。出す声の大きさによって、-10dB PADを入れてみるのも良いでしょう。

Electric Guitar - エレクトリック・ギター

Snowballはニュートラルな周波数特性と引き締まったボトムエンドが特徴で、クリーン~ディストーション・ギターを録るのに適しています。クリーンの場合、スピーカーの中心を狙うことでハイが強調されます。スピーカーコーンの端を狙うことで、より豊かなローサウンドが得られます。歪ませたギター・サウンドを収録する時は、スピーカーコーンの端を狙うか、アンプから30cm以上離してルームトーンとブレンドさせてみると倍音の広がりが出て良いでしょう。



Acoustic Guitar - アコースティック・ギター

きらめくようなハイトーンを含むアコースティックギター・サウンドをバランス良く収録するには、12フレット~14フレットあたり、ネックとボディの接合部周辺を狙います。





なるべくマイクを楽器に近付け、Snowballの正面をサウンドホールに少し向けるようにします。ローを多く含みたい場合はマイクをサウンドホールに寄せます。逆にハイを強調したい場合は、狙っているネックポジションを保ったまま、マイクを楽器から遠ざけるか、楽器の上、ギター奏者の頭あたりを狙います。

Strings - ストリングス/弦楽器



Snowballはストリングスなどの弦楽器全般を録るのにも適しています。弦楽器を収録する時は、楽器のボディ・レゾナンスと弓音をブレンドさせるために、ブリッジを狙うのが一般的です。バスとチェロでは、マイクをブリッジから3~6インチ(約8~15cm)ほど離すのが理想的です。バイオリンやビオラの場合は、30~60cmほど離すと良いでしょう。ブライトな音を得るためには、ペグ側にマイク・ダイアフラムを向けます。

Drums - ドラム/パーカッション

Snowballの卓越したタランジエント・レスポンスは、優れたドラムサウンドの収録を可能にします。ドラムキット、及びパーカッションを収録する時は、まずリム、もしくはフープの真上、2~4インチ(約5~10cm)ほど離して設置してみましょう。マイクの正面を演奏者のスティックもしくは手に向けると、アタックが強調されます。シェル側に向けるとパーカッションのアタック感が抑えられ、スネアの場合はブライトなクラック音が強調されます。楽器に近付けることでロー成分とシェルのレゾナンスが豊かになり、他の楽器の音が排除されていきます。逆に楽器から離すことで、ルームの空気感を増やすことができます。コンピューターに複数のUSBポートがある場合は、Snowballをペアで使用し、オーバーヘッド・マイクとして使用してみるのも良いでしょう。



Saxophones, Flutes, and Reeds - 管楽器／リード楽器

ソプラノ・サクソフォン、クラリネット、オーボエなどの管楽器を録音する時は、ホーンの真ん中から最端のパッドあたりの真上を狙うと良いでしょう。ボディに沿ってマイクを動かし、ハイのエア感进行调整してみましょう。マウスピースに近付けるにつれエア感が増し、ベルに近付けるにつれ歯切れの良いミッドレンジが得られます。フルートでは、楽器の真ん中を狙うところから始めましょう。マウスピースに近付けることでプレス感とハイが強調されていきます。その他のサクソフォン楽器の場合は、ベルの正面から2~6インチ（約5~12cm）ほど離して設置してみましょう。マウスピースに向けて上向きに傾けることでエア感とブライトネスが増します。床の方に向けると、メローなロー成分が増し、ベルから直接放射される強いハイミッドを抑えることができます。



その他の用途

Snowballはデスクトップ・マイクとしても理想的です。ディクテーション、ボイス・レコーディング、インターネット通話、そしてPodcastに最適です。ホームビデオのナレーションなど、ホームユースとしても手軽に使用いただけます。

さあ、Snowballの魅力を、思う存分お楽しみください！

技術仕様

	左ポジション	中ポジション	右ポジション
動作原理	Pressure Gradient	Pressure Gradient	Pressure Gradient
指向性パターン	単一指向	単一指向	無指向
周波数特性	40-18000Hz	40-18000Hz	40-18000Hz

オプション・アクセサリ

- ① The Ringer - ユニバーサル・ショックマウント
- ② The Pop - カスタム・ポップフィルター

Blue Microphonesのマイク／アクセサリ製品全ラインナップは、www.bluemicro.comにてご確認ください。



SNOWBALL™

Blue Microphones
5706 Corsa Ave., Suite 102
Westlake Village, CA 91362
www.bluemic.com

TCエレクトロニクスA/S日本支社（日本国内総輸入元）
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-2-15-4F
www.bluemic.jp

Blue Microphones, SnowballはBlue Microphonesの登録商標です。
MacintoshはApple, Inc.の登録商標です。
Windows XPはMicrosoft, Inc.の登録商標です。

製品改良のため、仕様及び外観は予告なく変更となる場合があります。



Microphones

Step up to the mic.™